

坂本龍馬、またもや感動！

西郷どん！サイレージカッターは
粗飼料の品質維持と
正確な飼料給与には絶対に
かかせんがぜヨ!!!



サイレージカッターによりキレイに取り出されているサイレージ。切断面は非常に“密”なまま維持されており、空気や水分の浸入をゆるさないでしょう。



バケットにより無惨に崩されている。二次発酵による嗜好性の低下やカビ毒産生の危険、さらには水分の著しい変化によるサイレージ給与量変動の原因となる。

取り出し面の管理は夏場にはさらに大きな差となって出る

高水分サイレージでは水分2～3%の変動が現物給与量で10～15%ほどの変動となり、これは低水分サイレージよりも高水分サイレージでより変動リスクが高くなります。例えば、水分80%のサイレージで水分が2%変動すると、現物給与量は10%変動することになります。この程度の水分変動はサイレージの上下やその日の天気などで日常起こりうるのですが、右側の写真のようなサイレージの取り出し方をするのでそのリスクは更に高くなり、その日その日で濃いエサ薄いエサができることとなります。

また二次発酵による嗜好性の低下やカビ毒産生などによりスポイレージの量は著しい量となり、牛の健康を害することになるし、また貴重な粗飼料がもったいないでしょう。

特に夏場には高い気温、ゲリラ豪雨など、気象面でのリスクも高くなります。

左側の写真ではそのような影響を受けにくくなります。

すでにご存知のかたもいると思いますが、当社のホームページができました。

<http://thms.jp>

もっとも危険なのは「ブログなどの更新をこまめにやらなくなる」ことです…そしてすでにそのような状態になっております。が、しかしっ！ここで気を取り直し今月から定期的にブログの更新をおこなうつもりです！どうかたまには観てみてください。